

巨大地震の被害を予想し、地域住民が自らどのような行動すれば被害が少なくなるかを考えます。

～『DIGファシリテーター養成講座 in 黒潮町』の開催～

高知県幡多郡黒潮町において災害図上訓練（DIG:Disaster Imagination Game）のファシリテーター養成講座を開催します。

南海トラフによる巨大地震への備えのひとつに、「災害を知る」、「まちを知る」、「人を知る」を基本に「災害時にどの様に考えて行動すれば良いか」を考え、地域の防災意識を高めることがあります。

この講座は、今後、地域の皆様が防災リーダーとなってDIGを実施し、地域の防災意識を高めていただけるようDIGファシリテーターを養成するものです。

また、四国東南海・南海地震対策連絡調整会議 津波対策部会「モデル地域における地震・津波対策プロジェクト」の取り組みとして平成19年度より実施しており、今回が7回目となります。（これまでの開催場所：高知県安芸市、徳島県美波町、高知県宿毛市、高知県香南市、高知県南国市、高知県土佐清水市）

●開催場所：高知県幡多郡黒潮町 幡多青少年の家

●講座日時：平成24年12月2日（日）9：00～17：00

●講師：富士常葉大学 環境防災学部 准教授 小村 隆史

●参加予定者：沿岸地域の消防団、自主防災組織、婦人会、文教関係、医療・福祉系の職員、役場職員等30名程度を予定

※DIGとは、大きな地図を参加者全員で囲み、災害対策のイメージトレーニングを実施するものです。大人から子供まで参加者全員で語り合いながら、課題の発見や災害対応を検討するためのトレーニングであり、地域や学校、事業所で実施することにより、防災意識の高揚のみならずコミュニティ（地域相互支援ネットワーク）作りに役立つと言われています。

なお、本取り組みは、国の機関や地方公共団体のみならず、学識経験者や地元経済界など47機関が認識を共有し、四国が一体となって取り組むべき事項を示した「四国地震防災基本戦略」にも位置付けられています。

この施策は、四国広域地方計画「No6防災向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

平成24年11月28日

四国東南海・南海地震対策連絡調整会議

問い合わせ先
「モデル地域における地震・津波対策」プロジェクト担当

高知県 危機管理部 南海地震対策課 チーフ 浜田 展和
TEL 088-823-9096

国土交通省四国地方整備局 企画部防災課 課長 上林 正幸
TEL (087) 811-8310 (ダイヤルイン)

平成23年度 DIGファシリテーター養成講座の実施報告

■演習概要

- ◆日時 平成23年12月10(土)13:00～17:00、11日(日)9:00～12:00
- ◆主催 東南海・南海地震対策連絡調整会議(四国地方整備局、高知県)
- ◆場所 土佐清水市役所 会議室(2F)
- ◆参加機関 土佐清水市、消防、自主防災組織、病院、NPO、小・中・高教諭、商工会議所
- ◆目的 DIGのファシリテーター養成
- ◆参加人数 約30名程度

九州～中部



四国管内



土佐清水市

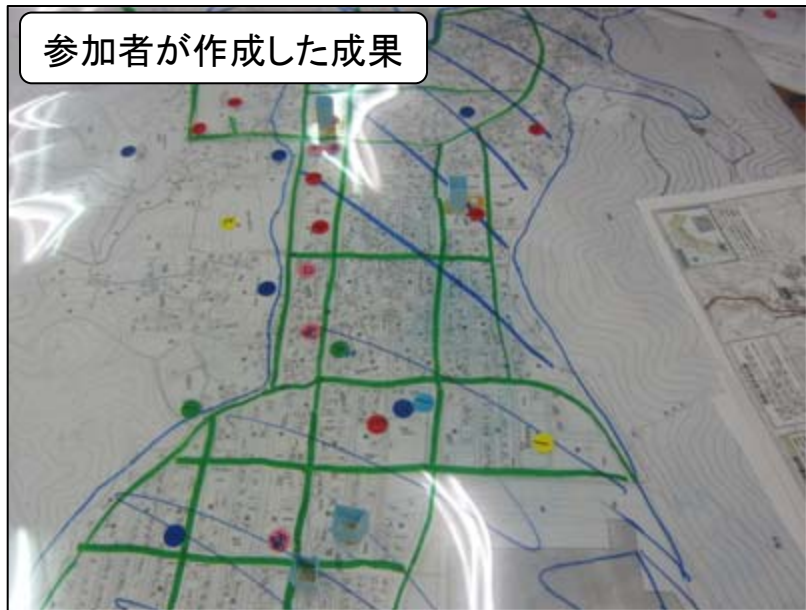


養成講座の状況



講師:小村 隆氏
富士常葉大学

参加者が作成した成果



演習内容

(2日目は参加者が中心)

オリエンテーション	・自己紹介 ・地図の見方	13:00～13:50	50分
被害想定を学ぶ	・土佐清水市の被害像を知る	14:00～14:50	50分
休憩	—	14:50～15:00	10分
課題と改善方法の共有	地域の地図を用いてDIGを实践	15:00～16:45	105分
講評	・全体を通しての講評等	16:45～17:00	15分

段階的に地図の見方を知る